

“ヒラメキ”からはじまる  
企業ストーリー

ハラスメント代理通知サービス「ソレハラ」を提供する【株式会社クアレレ】

【未常識】今は常識ではない、でも未来に常識となる事：これは私が作った造語です。

連日のようにテレビやネットニュースを騒がせる「ハラスメント」にまつわる問題が起きております。セクハラ、パワハラといった定番から、「アルコールハラスメント（アルハラ）」や、言葉や態度で精神的にダメージを与える「モラルハラスメント（モラハラ）」など、多種多様な訴えが日々生まれておりますが、ハラスメントをする側の大半は、自分の行為がどういふものなのか、気付いていないという事が少なくありません。行為や発言がハラスメントに該当するかは「受ける側の価値観に委ねられる」とし、どこまでがハラスメント行為なのか、「価値観の違い」が問題を生むだけに非常に難解です。

今回はハラスメントの代理通知サービス「ソレハラ」を開発・販売している【株式会社クアレレ】をご紹介します。

「ソレハラ」は、ハラスメントを匿名メールで本人に教える代理通知サービスです。目的は、被害者・加害者・勤め先が離職や裁判沙汰といった最悪な事態に陥るのを、未然に防ぐ事であり、そのために、「どこまでがハラスメント行為なのか」を、世代や上下関係の壁を超えて、教え合い、認知する事を目的としております。

第三者も含め、匿名者からの一方的な通知システムだけでなく、通知された側も送られてきたメールの中から、「反省している／してない」「感謝している／してない」「身に覚えのある／ない」といった、回答ボタンが用意されており、一方的に注意するのではなく、双方で教え合えるような仕組みであり、企業向けシステムを導入すれば、人事・管理職クラスの人のご自身の会社の

文 牛久保洋次

text by Yoji Ushikubo

- ・「誰のメールアドレスに」
  - ・「どんなハラスメント（セクハラ・パワハラ：etc）が」
  - ・「どれぐらいのレベルで」
  - ・「どれぐらいの量で」
  - ・「どんな場面で」
- 起きていけるかが統計的に可視化できるようになっております。

またセクハラ・パワハラは、かなりデリケートな問題で、やり方次第でトラブルを招く恐れもあるかと思われまます。最悪の事態に陥らないよう、サービス提供に当たって、最も力を入れているのは、イメールとライティングです。メールの文面にも猫のキャラクターを取り入れ、シユールで可愛いものを前面に出し、「送られた側の怖さ」を、なるべく抑えるように心掛けており、同じ日、同じ人にたくさんのメールが来ないような制限や、暴言・嫌がらせの言葉が入らないよう、フィルタリング機能も実装しています。

「ソレハラ」はハラスメントのすべてを解消する魔法のサービスではないが、「声をあげにくい人々」の背中を押し、状況を変えるかもしれない一歩になるでしょう。

【株式会社クアレレ】  
<https://quaerere.app/>

今月の一言

言葉や行動の判断基準を共有し、働きやすい環境作りへ!!

これが則ち【未常識の発見】



Profile

慶應義塾大学商学部 卒業  
株式会社友アンド愛（レコードレンタルビジネスの開発者）を創業し、代表取締役就任。約700店舗をFC展開する。株式会社ビザカリフォルニアを創業し、代表取締役就任。約400店舗をFC展開する。日本CDビデオレンタル商業組合 初代理事長（社）ニュービジネス協議会 理事等を歴任。  
現在、株式会社いかしい隊 会長、その他顧問数社。